



Management Message

副理事長
木村 典央

先ず初めに、本年1月1日に発生しました令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に深い哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

鉄道・運輸機構（JRTT）では、発災後国土交通省や地元のご要請を受け、鉄道災害調査隊（RAIL-FORCE）を現地に派遣し、鉄道の被災状況の調査を実施いたしました。今後とも被災地が1日も早く日常の生活を取り戻せるよう、復旧・復興に向け最大限の対応をしてみたいと考えております。

さて、3月16日、北陸新幹線（金沢・敦賀間）が開業いたしました。全国新幹線鉄道整備法に基づく整備計画の策定以来半世紀の時を経て、新幹線が初めて福井の地にその雄姿を現しました。開業当日は晴天にも恵まれ、ブルーインパルスの特典飛行をはじめ、各駅において、多彩なイベントが開催され、多くの利用者の方々が大変なにぎわいを見せました。

JRTTでは、北陸新幹線について、1989年の高崎・軽井沢間の工事に着手以来、飯山トンネルの地質不良対策や北陸・信越地域特有の雪害等の厳しい自然条件に対して国内唯一の公的鉄道技術集団として培ってきたさまざまな知見と技術を駆使して、建設を進めてまいりました。2012年に工事に着手いたしました、金沢・敦賀間につきましても、トンネルの変状をは

じめとする厳しい自然条件等、さまざまな課題に直面し、その中で開業時期の遅延等により関係者の皆様にご心配をおかけしましたが、現場の工事を監督するJRTT職員と工事を実施する建設会社の方々の昼夜を問わない献身的な対応と地元の皆様のご理解、ご協力により、無事に開業を迎えることができました。改めて深く御礼を申し上げます。

明日を担う交通ネットワークづくりへの貢献という基本理念に基づき、整備新幹線はじめ鉄道インフラの整備を担うJRTTの職員として、開業を迎え、地元の皆様の笑顔に接することができるのは、この上ない喜びであり、それまでの苦労が報われる瞬間でもあります。

金沢・敦賀間の開業により、東京・福井間は最速2時間51分、大阪・金沢間は敦賀駅での乗り換えで最速2時間9分になるなど、北陸地方と首都圏、関西圏のネットワークが一層緊密になります。北陸新幹線が永く皆様に愛され、令和6年能登半島地震の被災地の復旧・復興、さらには北陸地方や我が国の発展に大きく貢献することを心より願っております。

また、JRTTでは敦賀・新大阪間の整備につきましても、環境アセスメントの実施や地質・地下水の調査、駅の概略設計等も行っているところです。引き続き早期整備に向け最大限努力してまいりますので、今後とも関係者の皆様のご理解、ご協力を何卒お願い申し上げます。